

県感染症情報センター

ノロウイルスの流行情報と、予防法の確認

声なき感染症を知る

秋から春先に流行する「ノロウイルス」とは、そもそも、どのようなウイルスなのでしょう。今回は、これまでに分かってきたノロウイルスの流行事情と予防対策について話をします。

命名されています。

このウイルスは今のところ、ヒト以外の動物への感染例はなく、ウイルスのルーツがどこであったのかは不明です。後に、このウイルスによる急性胃腸炎患者が世界各地で報告されるようになり、メジャーなウイルスとして知られるようになります。

▽流行季と感染経路

このウイルスは感染力が強く、微量で感染します。

1〜2日の潜伏期のあと下

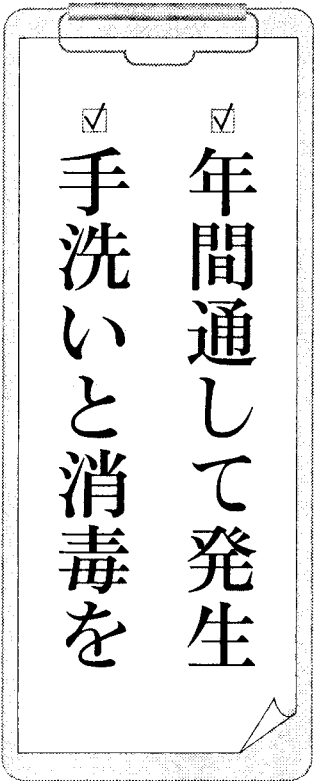
す。

感染経路は、多様であることが分かっています。海水に漂うノロウイルスを取り込んだ生カキを食べることでの感染(食品→ヒト)や、感染者の吐物などからの感染(ヒト→ヒト)や、感染した調理従事者が十分に手を洗わず調理し、汚染させた食品からの感染(ヒト→食品→ヒト)などが検証されています。

今年1月に静岡県浜松市で起こった給食パンを食べた集団食中毒などは、ヒト↓食品→ヒトの経路に当てはまるものです。

▽予防と消毒

ノロウイルスのワクチンや特効薬はありません。感染のほとんどは口を通じて

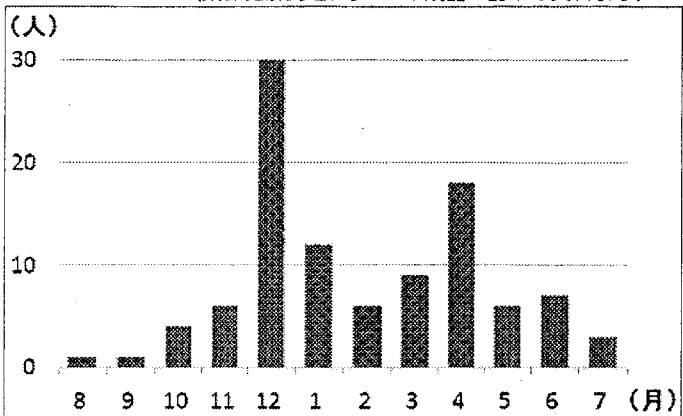


当初、地名にちなんでノロウイルスと呼ばれていましたが、現在ではノロウイルスとして正式に

痢、嘔(おう)気、吐き気、腹痛などの症状が出ます。発熱も認められることがありますが、高熱ではありません。

また、吐物や汚物を処理する際は、使い捨ての手袋とマスクを着装し、塩素系の消毒液を十分に噴霧(市販の漂白剤を約50倍に薄めたもの)し、消毒液を染み

奈良県における月別ノロウイルス患者発生状況 (県保健研究センター 平成22~25年の資料より)



せん。

本県での流行季は、「奈良県感染症発生動向調査」によると、10月ごろから始まり6月ごろまでですが、夏場の集団感染事例などもあることから、年間を通して発生していると考えられます。

(県感染症情報センター)

第2木曜日掲載